

News Release

株式会社山陰合同銀行

〒690-0062 島根県松江市魚町 10
TEL.0852-55-1000
<https://www.gogin.co.jp>

2024年2月8日

地銀共同センターの次期勘定系システム基盤について ～国内初のオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」の適用～

ごうぎんは、次期勘定系システム基盤に関して、地銀共同センター参加行^{※1}とともにNTTデータの国内初となるオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」を採用する方針を確認しました。本クラウドは、地銀共同センターにとどまらず、他金融機関への適用も可能とする一歩進んだ取り組みで、勘定系システムの効率的運用に大きく寄与するスキームです。

当行は、2028年の第一号の適用に向けて参加行と協力して検討を進めていくことをお知らせします。

記

1. 概要

当行を含む地方銀行13行からなる地銀共同センターでは、NTTデータとともに「オープン基盤」「業務アプリケーション継承」「コミュニティクラウド」の3つの基本方針に沿って次期勘定系システム基盤の検討を進めてきましたが、この度、「統合バンキングクラウド」上に勘定系システム基盤を適用・構築することといたしました。これにより、安心・安全なシステムを利用しつつ、オープン化による勘定系システムの軽量化を図るとともに経営資源を戦略領域に集中することで、お客様への付加価値の高いサービス提供を目指します。

これは、地方銀行6行からなるMEJAR(メジャー)^{※2}との共同研究会「CMS-WG」^{※3}の主要テーマである「勘定系システムの効率的運用」の実現に向けた取り組みの一環で、2024年1月にPITON(ピトン)を採用してオープン基盤に移行したMEJARの先行事例等も取り入れることにより、オープン基盤への移行についても安心・安全に実現可能なスキームとなっています。

以上

※1※2 地銀共同センター、MEJAR参加行は【別紙】をご参照ください

※3 CMS-WG(地銀共同センター・MEJARシステム・ワーキンググループ)

NTTデータの勘定系パッケージ(BESTAパッケージ)を採用し、システム関連で親和性のある両グループがそれぞれの強みを生かし、参加行共通の課題に対するシステム運用の効率化を検討する研究会

＜参加行＞



※広島銀行は、2030年度より共同利用予定

＜ご参考＞CMS-WGの取り組み

| 時 期 | 取組内容 |
|-----------------|---|
| 2021年11月 | 地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ（CMS-WG）発足 |
| 2022年5月 | オンラインデータ連携を活用した業務アプリの相互流通スキーム立ち上げ |
| 2022年11月 | 勘定系システムのクラウド化に向けた検討の開始 |
| 2023年3月 | サイバーセキュリティ高度化に向けた連携組織「CMS-CSIRT」設立 |
| 2024年2月 （本件） | 地銀共同センターの次期勘定系システム基盤について |